



令和5年度

12月

人権一口講座



「買い物弱者」って、なに？

「買い物弱者」って言葉、聞いたことありますか？

「買い物弱者」とは「買い物難民」とも呼ばれ、平成二十二年に経済産業省の有識者会議で報告されたもので、「流通機能や交通の弱体化とともに、食料品等の日常の買い物が困難な状況に置かれている人々」と位置付けられています。

地方都市や過疎地域では高齢化や人口減少によりスーパーや商店が減少し、居住地より遠くのお店まで行かなくてはならず、買い物が増え続けています。また、都市部においてもマンションの高層化や一人暮らしの増加などにより影響が出ており、国や自治体もこのような状況を解決するため移動販売の支援や交通の利便性を上げるなど、高齢者や身体に障がいがある人が買い物に行きやすいような整備も計画されています。

熊本市でもこのような現象が起きています。熊本市では令和四年十一月から南区天明地区において日常生活の移動手段として、近隣のスーパー等商店や病院・最寄りの駅やバス停などを目的地とした乗合いタクシーの実証実験を始めています。令和五年八月からは飽田・小島・中島地域に拡大され、二百二十か所の乗降所が設けられています。この実証実験を行う際は地域の高齢者や自治会・老人会・民生委員など多くの方から聞き取りを行い、普段利用する施設などを設定しています。

この他、西区の河内・芳野地区では令和三年度から大手コンビニとの連携による移動販売が継続され、今では見守り活動や介護予防事業にも繋がっています。また、買い物支援を行うボランティアによる買い物同行や、買い物に困っている方に必要な商品を宅配するサービス等もあるようです。

これから益々、広がる「買い物弱者」。新たなサービスも利用するためにもメディアやSNSなどインターネットの情報が取れる環境を持つことが重要です。デジタル化が進む中、苦手意識のある方もいると思いますが、各公設公民館でもICT等講座が開催されていますので、ぜひチャレンジしてみてくださいいかがでしょうか。

広がる送迎サービス 新しい乗り合いタクシーが始まる！

チョイとリコまで、ごっしょよに

チョイとリコ

くまもと西南

天明・飽田・小島・中島
地区で実証実験中！

短いメッセージ ぼくが できないことを いっしょになやんでくれて
ありがとう ぼくも がんばるよ

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会のカレンダー- 帯山小学校二年 村上羽矢さんの作品より